



2024年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アールエイジ
コード番号 3248 URL <https://www.early-age.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向井山 達也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松原 愛 TEL 03-5575-5590
定時株主総会開催予定日 2025年1月24日 配当支払開始予定日 2025年1月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年1月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の連結業績（2023年11月1日～2024年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	4,725	37.3	890	62.4	814	70.6	529	62.0
2023年10月期	3,440	△7.0	548	△12.7	477	△16.3	326	△12.9

(注) 包括利益 2024年10月期 530百万円 (62.3%) 2023年10月期 326百万円 (△12.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	166.58	—	12.2	5.8	18.8
2023年10月期	102.80	—	8.1	3.6	15.9

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 ー百万円 2023年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	14,398	4,561	31.7	1,433.98
2023年10月期	13,488	4,136	30.7	1,300.33

(参考) 自己資本 2024年10月期 4,561百万円 2023年10月期 4,136百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	2,087	△1,351	118	1,775
2023年10月期	840	△992	108	920

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	15.00	—	18.00	33.00	104	32.1	2.6
2024年10月期	—	15.00	—	21.00	36.00	114	21.6	2.6
2025年10月期(予想)	—	15.00	—	21.00	36.00		49.1	

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	△32.3	442	△50.4	350	△57.0	233	△56.1	73.25

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年10月期	3,181,000株	2023年10月期	3,181,000株
2024年10月期	196株	2023年10月期	186株
2024年10月期	3,180,808株	2023年10月期	3,180,814株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年10月期の個別業績（2023年11月1日～2024年10月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	4,471	40.3	851	64.1	805	68.4	533	58.5
2023年10月期	3,187	△8.2	519	△12.9	478	△15.8	336	△12.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期	167.87	—
2023年10月期	105.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年10月期	14,307	4,519	4,519	4,090	31.6	1,420.88	1,285.92	
2023年10月期	13,401	4,090	4,090	4,090	30.5	1,285.92	1,285.92	

(参考) 自己資本 2024年10月期 4,519百万円 2023年10月期 4,090百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善及びインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、急激な為替変動、エネルギー価格の高騰、人件費や物流費等の上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、不動産価格の高騰、建築資材の供給制約に伴う建築コストの増加、金利上昇等の懸念が顕在化しつつありますが、主たる事業エリアである都心部においては、人口転入超過を背景に住宅賃料は上昇基調を強めるなど需要は底堅く推移しております。

このような状況の下、当社グループは運営管理事業で安定収益を確保しつつ、都心部にフォーカスした優良な賃貸事業用不動産の企画開発に注力してまいりました。

この結果、連結会計年度の経営成績は、計画比順調に推移し、売上高は4,725,523千円(前期:3,440,552千円、前期比:37.3%増)、営業利益は890,588千円(前期:548,441千円、前期比:62.4%増)、経常利益は814,443千円(前期:477,413千円、前期比:70.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は529,845千円(前期:326,993千円、前期比:62.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<運営管理事業>

当セグメントにおきましては、賃貸事業用不動産(社有及びサブリース物件)の運営、管理受託物件のサービス提供にあたり、品質の向上、効率化を主眼にグループ一丸で取り組んでまいりました。この結果、運営管理事業の売上高は2,851,841千円(前年同期:2,826,219千円、前年同期比:0.9%増)、セグメント利益は557,206千円(前年同期:565,469千円、前年同期比:1.5%減)となりました。

<開発販売事業>

当セグメントにおきましては、賃貸事業用不動産2棟(91室)を販売いたしました。この結果、開発販売事業の売上高は1,892,195千円(前期:614,333千円、前期比:208.0%増)、セグメント利益は523,297千円(前期:139,596千円、前期比:274.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当社グループにおける財政状態の分析は以下のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項については、本資料提出日現在において当社グループが判断したものであります。

資産、負債及び純資産の分析

(資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は14,398,158千円となり、前連結会計年度末に比べ909,936千円増加しました。これは主として、新規開発用土地の仕入及びプロジェクト完成振替等により有形固定資産が989,352千円増加したものであります。

(負債の状況)

当連結会計年度末における負債合計は9,836,929千円となり、前連結会計年度末に比べ484,805千円増加しました。これは主として、借入金223,457千円及び未払法人税等209,070千円増加したものであります。

(純資産の状況)

当連結会計年度末における純資産は4,561,229千円となり、前連結会計年度末に比べ425,131千円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加424,878千円であります。これらの結果、自己資本比率は31.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末から854,435千円増加し、1,775,308千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と変動の要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、1年間で増加した資金は2,087,356千円(前年同期では840,212千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益により817,964千円資金が増加し、また賃貸事業用不動産の売却等により棚卸資産が減少し資金が1,155,180千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1年間で減少した資金は1,351,185千円(前年同期では992,167千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,234,163千円及び無形固定資産の取得による支出11,264千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、1年間で増加した資金は118,265千円(前年同期では108,718千円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の借入及び返済により223,457千円増加し、配当金の支払いにより105,182千円減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

不動産価格や建築費の高騰、工期の長期化など不動産建設業界を取り巻く環境の変化には留意が必要です。このような状況の下、当社グループは運営管理事業における安定した賃料収入を収益の基盤とし、引き続き都心部において競争力の高い賃貸事業用不動産の企画開発に注力してまいります。

当連結会計年度では、保有する賃貸事業用不動産の中でも大型の物件(85戸)を売却いたしましたので、来期の業績は反動的側面が強くなります。来期の連結業績は、売上高3,200百万円(当期比32.3%減)、営業利益442百万円(同50.4%減)、経常利益350百万円(同57.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益233百万円(同56.1%減)を見込んでおります。

※上記の予想は、本資料の発表時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主様への利益還元を経営の重要な課題と位置付けており、中長期的な事業計画に基づき企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保の充実を図るとともに、業績に応じた安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期につきましては、36円(中間:15円…実施済み、期末:21円)を予定しております。

次期につきましては、36円(中間:15円、期末:21円)を継続する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	920,873	1,775,308
営業未収入金	35,585	36,453
棚卸資産	2,557,605	1,472,423
その他	32,667	86,716
貸倒引当金	△640	△201
流動資産合計	3,546,091	3,370,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,848,851	5,720,696
減価償却累計額	△603,270	△719,281
建物及び構築物 (純額)	4,245,581	5,001,414
車両運搬具	42,133	46,336
減価償却累計額	△38,313	△29,792
車両運搬具 (純額)	3,819	16,544
工具、器具及び備品	126,544	127,784
減価償却累計額	△122,240	△124,405
工具、器具及び備品 (純額)	4,303	3,378
土地	4,773,782	5,294,563
建設仮勘定	404,344	105,282
有形固定資産合計	9,431,830	10,421,183
無形固定資産		
ソフトウェア	5,493	2,944
ソフトウェア仮勘定	-	10,994
借地権	69,559	67,668
その他	3,202	3,202
無形固定資産合計	78,255	84,809
投資その他の資産		
投資有価証券	7,863	8,497
繰延税金資産	147,022	168,825
敷金	54,157	61,534
差入保証金	53,549	53,451
その他	169,450	229,155
投資その他の資産合計	432,044	521,464
固定資産合計	9,942,130	11,027,457
資産合計	13,488,222	14,398,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	37,355	99,586
1年内返済予定の長期借入金	1,359,173	753,189
未払費用	76,474	53,790
未払法人税等	41,287	250,358
未払消費税等	19,869	36,175
賞与引当金	4,000	-
前受金	90,503	93,354
営業預り金	113,111	119,021
その他	4,359	4,291
流動負債合計	1,746,135	1,409,767
固定負債		
長期借入金	7,204,153	8,033,595
預り敷金	71,060	67,311
預り保証金	330,774	326,254
固定負債合計	7,605,988	8,427,161
負債合計	9,352,123	9,836,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	167,208	167,208
資本剰余金	66,058	66,058
利益剰余金	3,900,417	4,325,295
自己株式	△144	△153
株主資本合計	4,133,539	4,558,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,558	2,819
その他の包括利益累計額合計	2,558	2,819
純資産合計	4,136,098	4,561,229
負債純資産合計	13,488,222	14,398,158

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	3,440,552	4,725,523
売上原価	2,374,826	3,254,840
売上総利益	1,065,725	1,470,682
販売費及び一般管理費		
役員報酬	105,190	120,816
給料及び手当	104,307	118,828
賞与	2,500	2,475
賞与引当金繰入額	4,000	-
法定福利費	22,579	24,678
地代家賃	49,116	49,343
租税公課	112,637	133,693
通信費	8,557	7,505
業務委託費	35,704	36,862
その他	72,690	85,889
販売費及び一般管理費合計	517,283	580,093
営業利益	548,441	890,588
営業外収益		
受取利息	15	198
受取配当金	384	358
受取保険料	-	1,157
未払配当金除斥益	246	228
貸倒引当金戻入額	209	61
その他	315	471
営業外収益合計	1,171	2,476
営業外費用		
支払利息	70,377	76,065
その他	1,821	2,556
営業外費用合計	72,199	78,622
経常利益	477,413	814,443
特別利益		
固定資産売却益	-	3,521
特別利益合計	-	3,521
特別損失		
固定資産除却損	31	-
特別損失合計	31	-
税金等調整前当期純利益	477,382	817,964
法人税、住民税及び事業税	144,804	310,037
法人税等調整額	5,584	△21,918
法人税等合計	150,389	288,119
当期純利益	326,993	529,845
親会社株主に帰属する当期純利益	326,993	529,845

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純利益	326,993	529,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341	261
その他の包括利益合計	△341	261
包括利益	326,652	530,106
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	326,652	530,106

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	167,208	66,058	3,672,028	△144	3,905,151
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△98,605		△98,605
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	326,993		326,993
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	228,388	-	228,388
当期末残高	167,208	66,058	3,900,417	△144	4,133,539

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,900	2,900	3,908,051
当期変動額			
剰余金の配当			△98,605
親会社株主に帰属する当期純利益			326,993
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△341	△341	△341
当期変動額合計	△341	△341	228,046
当期末残高	2,558	2,558	4,136,098

当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	167,208	66,058	3,900,417	△144	4,133,539
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△104,966		△104,966
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	529,845		529,845
自己株式の取得				△8	△8
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	424,878	△8	424,869
当期末残高	167,208	66,058	4,325,295	△153	4,558,409

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,558	2,558	4,136,098
当期変動額			
剰余金の配当			△104,966
親会社株主に帰属する当期純利益			529,845
自己株式の取得			△8
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	261	261	261
当期変動額合計	261	261	425,131
当期末残高	2,819	2,819	4,561,229

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	477,382	817,964
減価償却費	200,108	221,818
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△209	△438
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△900	△4,000
受取利息及び受取配当金	△399	△502
支払利息	70,377	76,065
固定資産売却益	-	△3,521
固定資産除却損	31	-
営業債権の増減額 (△は増加)	△5,236	△3,123
棚卸資産の増減額 (△は増加)	416,095	1,155,180
前渡金の増減額 (△は増加)	-	△52,871
営業債務の増減額 (△は減少)	4,712	62,231
前受金の増減額 (△は減少)	△10,318	2,851
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,229	16,306
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△4,728	△3,749
その他	6,635	△7,953
小計	1,155,781	2,276,257
利息及び配当金の受取額	14	198
利息の支払額	△70,676	△77,038
法人税等の支払額	△244,907	△112,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	840,212	2,087,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△896,381	△1,234,163
無形固定資産の取得による支出	△70,084	△11,264
その他	△25,700	△105,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△992,167	△1,351,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	919,190	1,714,700
長期借入金の返済による支出	△712,099	△1,491,242
自己株式の取得による支出	-	△8
配当金の支払額	△98,372	△105,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,718	118,265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,236	854,435
現金及び現金同等物の期首残高	964,109	920,873
現金及び現金同等物の期末残高	920,873	1,775,308

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

運営管理事業	・・・	賃貸マンションの自社所有、賃貸マンションの一括借上げ (サブリース)、居住用賃貸物件と駐車場の賃料収受・管理 業務及び仲介業務、大型リフォーム
開発販売事業	・・・	賃貸マンションの企画、開発、販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

- ① 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。
- ② 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。
- ③ セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	運営管理事業	開発販売事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	559,233	614,333	1,173,567	—	1,173,567
その他の収益 (注) 4	2,266,985	—	2,266,985	—	2,266,985
外部顧客への売上高	2,826,219	614,333	3,440,552	—	3,440,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,826,219	614,333	3,440,552	—	3,440,552
セグメント利益	565,469	139,596	705,066	△156,624	548,441
セグメント資産	9,802,704	2,573,940	12,376,645	1,111,576	13,488,222
その他の項目					
減価償却費	197,332	280	197,612	2,495	200,108
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	985,671	—	985,671	5,627	991,299

(注) 1. 「調整額」は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△156,624千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に提出会社の本社管理部門に係る費用です。
 - (2) セグメント資産の調整額1,111,576千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額2,495千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,627千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の購入であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
 3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用の償却額及び増加額が含まれます。
 4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月31日)に基づく賃貸収入等が含まれております。

当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	運営管理事業	開発販売事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	544,874	1,892,195	2,437,070	-	2,437,070
その他の収益 (注) 4	2,288,452	-	2,288,452	-	2,288,452
外部顧客への売上高	2,833,327	1,892,195	4,725,523	-	4,725,523
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,513	-	18,513	△18,513	-
計	2,851,841	1,892,195	4,744,036	△18,513	4,725,523
セグメント利益	557,206	523,297	1,080,504	△189,915	890,588
セグメント資産	10,849,360	1,541,146	12,390,507	2,007,651	14,398,158
その他の項目					
減価償却費	215,441	240	215,681	6,136	221,818
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,321,423	-	1,321,423	24,994	1,346,418

(注) 1. 「調整額」は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△189,915千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に提出会社の本社管理部門に係る費用です。
 - (2)セグメント資産の調整額2,007,651千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。
 - (3)減価償却費の調整額6,136千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の減価償却費であります。
 - (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額24,994千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産の購入であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
 3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用の償却額及び増加額が含まれます。
 4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月31日)に基づく賃貸収入等が含まれております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)		当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	
1株当たり純資産額	1,300円33銭	1株当たり純資産額	1,433円98銭
1株当たり当期純利益金額	102円80銭	1株当たり当期純利益金額	166円58銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	326,993	529,845
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	326,993	529,845
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,180,814	3,180,808

(重要な後発事象)

該当事項はありません。